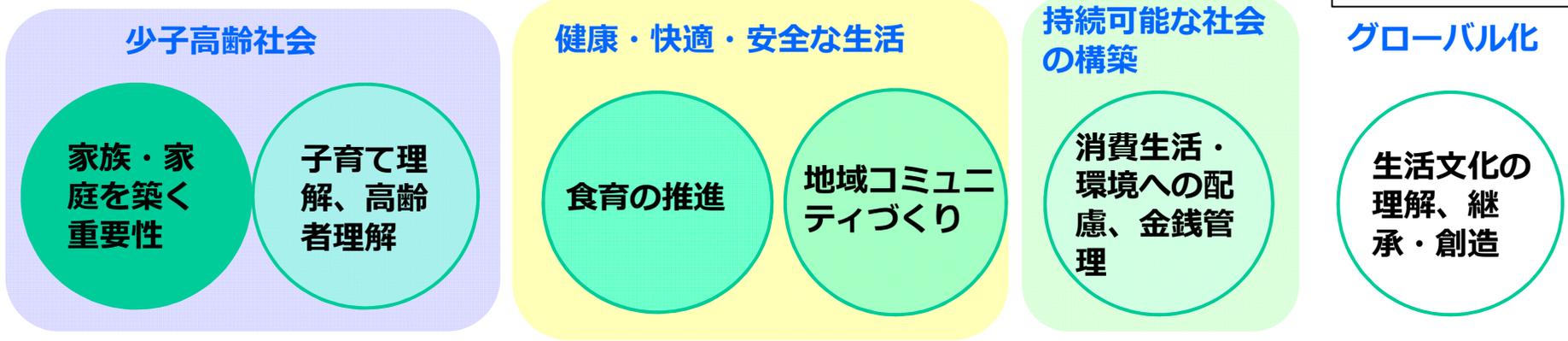


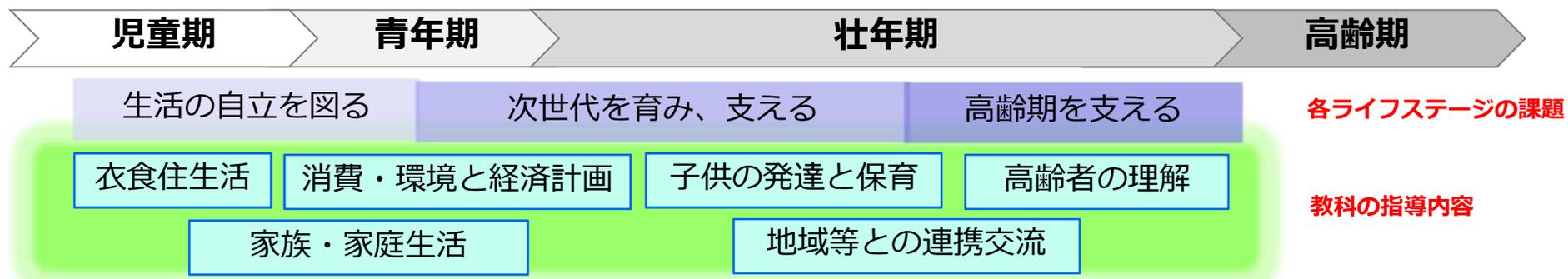
家庭科，技術・家庭科（家庭分野）の内容構成の方向性イメージ(たたき台)

平成28年2月17日教育課程部会
家庭、技術・家庭ワーキンググループ
資料6

社会の変化への対応



他者と共生し自立した生活、生涯を見通した生活



教育課程企画特別部会 論点整理 (平成27年8月) より

⑩家庭、技術・家庭
(中略)

○ 一方で、家庭科及び家庭分野においては、生活の科学的な理解や、生活課題を解決する能力と実践的な態度を育成すること等について、更なる充実が求められるところである。次期改訂に向けては、幼児期に育まれたいろいろな人との関わりや健康な心と体等の基礎の上に、小・中・高等学校教育を通じて育成すべき資質・能力を、三つの柱に沿って明確化し、各学校段階を通じて、**家庭や社会とのつながりを重視**するとともに、**少子高齢社会、資源や環境に配慮したライフスタイルの確立や持続可能な社会づくりのための力**や、**他者と共生し自立して生活する力、生涯を見通して生活を設計し創造していく力**の育成等を図っていくことが求められる。